タイル貼り床面専用
フクビ内装建材

浴室リフォーム工法（床面施工）

施工説明書

このたびは、フクビ「**浴室リフォーム工法**（床面施工）」をご採用いただきまして有難うございました。
下記の取扱い・施工説明書をよくご覧の上、正しく施工を行ってください。

本施工説明書では「注意」を、下記のような定義で使用しています。

記号の説明 ⚠注意 誤った取扱いを行うと軽傷または、物的障害や損傷が発生する可能性があることを示します。

⚠注意　下地に関して

- この浴室リフォーム工法は、躯体への漏水を防ぐことを目的とするものではありません。
- 床面から躯体への漏水がないか確認してください。漏水がある場合は補修を行い、このリフォーム施工前に漏水がないようにしてください。
- 下地の乾燥度は施工上もっとも重要であり、床面の乾燥は施工前に充分に行ってください。
- 表面強度が強く、床面が汚れていない事が必要です。
- タイルが割れているなどの下地の状態が悪い場合には、下地調整材で下地の調整を行ってください。アースシール等使用の際は、その施工説明書に沿って使用ください。

⚠注意　施工できない下地

- モルタルおよびコンクリートの床には施工できません。
- システムバスの床には施工できません。
- 防水が確保できない床面には、施工できません。
- 排水口廻りの水勾配が1/30以上の場合は施工できません。
- 腐食している床には施工できません。
- 1,820×2,000mm以上のサイズの床面には使用できません。

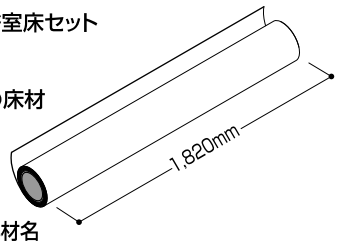
⚠注意　施工に関して

- 必ず専用接着剤をご使用ください。
- 施工の前には接着剤容器記載の注意をよく読んで安全に取り扱ってください。
- 施工時の温度条件に関して、気温の低い条件では接着剤やシーリング剤の硬化に時間がかかりますので、室温を上げて施工を行ってください。
- シート裏面へ水が浸透しないよう末端処理やシーリング処理は確実な施工を実施してください。
- 施工説明書を参照の上で施工を実施してください。
- **5℃以下**では施工を実施しないでください。

■部材一覧

浴室床セット

●床材



部材名
①ペディシート（2,000mm巻）×1
②養生用紙管（浴室床シートの紙管）×1

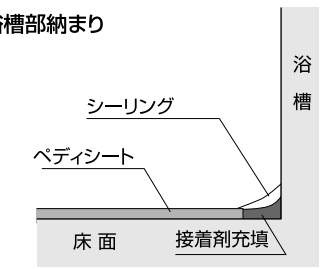
浴室床専用接着剤セット
（標準塗布量:400g/m²）
※接着剤はシーリング剤としても使用します。

部材名
①接着剤（ペディボンド）×2
②くし目ゴテ×1
③マスキングテープ（15mm×18m）×1
④プラスチックベラ×1
⑤施工説明書×1
⑥取扱説明書×1

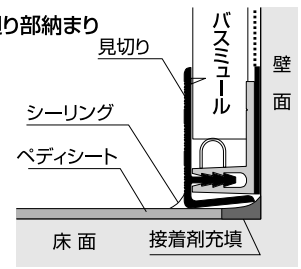
■参考納まり図

※シーリングには浴室用防カビ剤入りシーリング剤を別途ご用意ください。

●浴槽部納まり

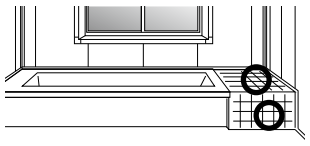


●壁廻り部納まり



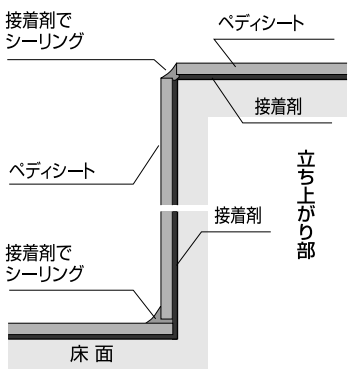
浴槽脇立ち上がり部分納まり例

浴槽脇の立ち上がり部分をペディシートで納める場合には、以下の納まりを参考にしてください。

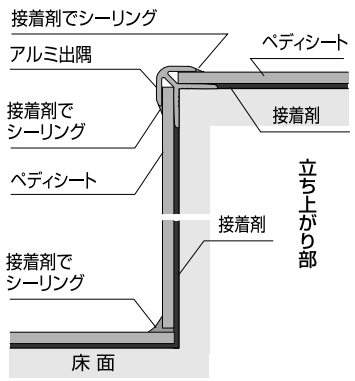


⚠注意 ●ペディシートは床面専用のため、立ち上がり部に使用すると、角部上面に水が溜まる恐れがあります。

●ペディシート突き付けで納める例

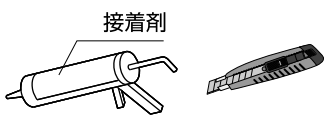


●アルミ出隅（品番:WWFSDW）を使用して納める例

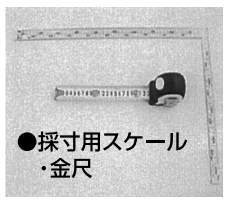


■工具一覧　※工具を使用する場合は工具の取扱い説明書に従い、安全具と共に使用してください。

●カートリッジガン　●カッター

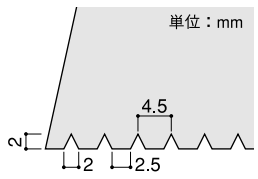


●採寸用スケール・金尺



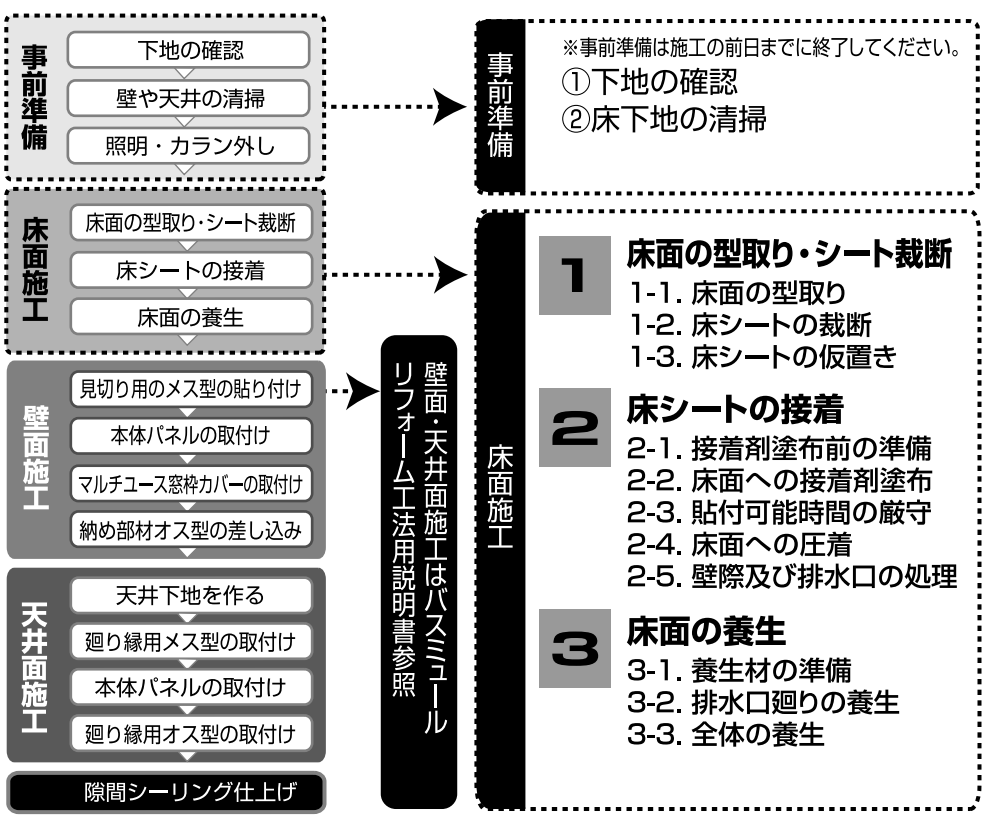
●床用ローラー

●くし目ゴテ（付属品）



施工手順-1

■施工の流れ

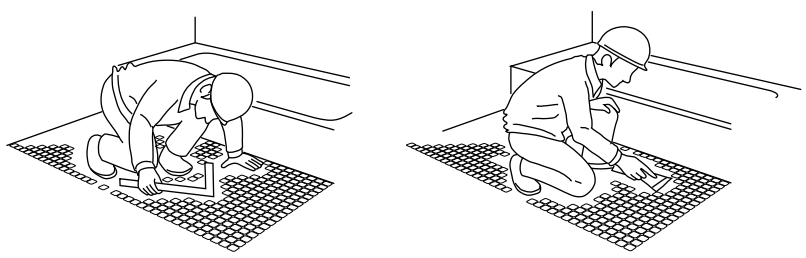


■施工の流れ

事前準備　①下地の確認と準備をする。

施工の前に以下を確認し、必要に応じて補修を完了させてください。

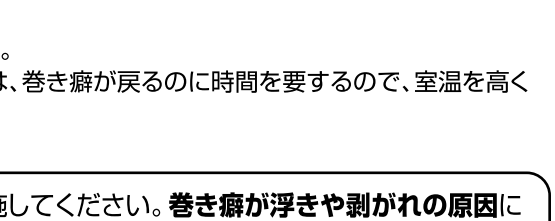
- **水漏れの確認**⇒床から躯体への水漏れがないか確認してください。
- **床の凹凸の確認**⇒床面に水溜りが出来るような凹みなど、大きな凹凸がないか確認してください。
- タイルが割れているなど下地の状態が悪い場合には、下地調整材等で下地の調整を行ってください。



②床下地の清掃

- 浴室用中性洗剤で汚れを丁寧に洗い落とし、カビが発生している部分はカビ除去用の専用洗剤で取り除いてください。

※汚れたままでは、接着剤の接着力が充分発揮できません。
※清掃後は施工面を完全に乾燥させてください。施工時に万が一濡れている箇所があれば、タオルやドライヤーなどを用いて乾燥させてください。
※冬季や寒冷地では、乾燥時間を多く取る必要があります。



1 床面の型取り・シート裁断

1-1. 床面の型取り

①浴室床面全体に型紙を敷く

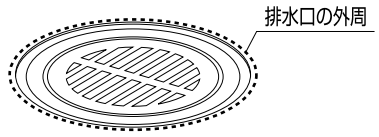
- 型紙には収縮の少ない紙の使用をお勧めします。ルーフィング紙は最適です。
- 型紙の継ぎ目は、粘着テープなどにより完全に固定してください。

②型紙が動かないように床面に固定する

- 各角や隅角部も型紙が動かないように、粘着テープで床に仮止めします。

③排水口の寸法と位置出し

- コンパス等を使用して排水口の位置を出します。
- 排水口の型は排水口の縁の外周で取ります。



1-2. 床シートの裁断

①事前に裁断した型紙の型を床シートに写す

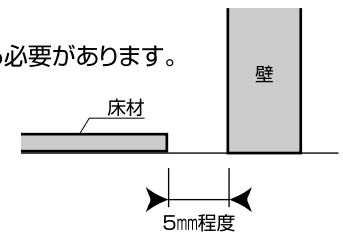
- 床シート裏面に型を写します。型紙の表裏に注意してください。

②写した型の内側5mmに線を引く

- 床シートを接着する際には、壁際から5mm程度間隔を取る必要があります。

③裁断する

- 床シートには深いエンボスがあります。
- 2～3回のカットで正確に切り込んでください。



1-3. 床シートの仮置き

①巻き癖を取る

- 平坦な乾燥した場所に広げてください。
- 冬季や寒冷地など気温の低い条件では、巻き癖が戻るのに時間を要するので、室温を高くするなどの対処が必要です。

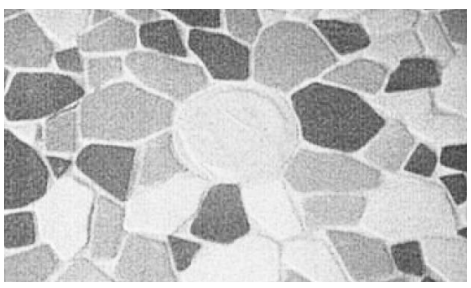
チェックポイント

☐ 巻き癖を伸ばして施工を実施してください。**巻き癖が浮きや剥がれの原因**になります。必ず、巻き癖を取って施工してください。

2 床シートの接着

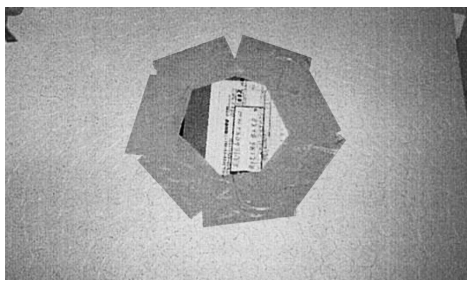
2-1. 接着剤塗布前の準備

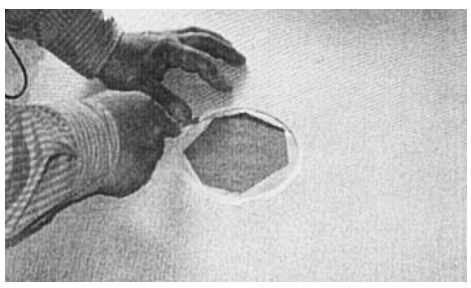
①排水口目皿の養生。



●接着剤が排水口部材に付着しないように、予め養生をします。
●養生テープを用いて、排水口目皿の形に合わせてカットします。

②床シートの養生。



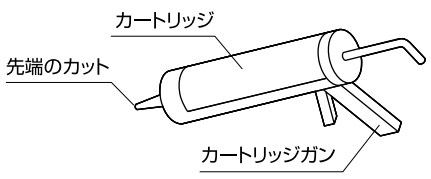


●床シートの表面から、養生テープを穴部分を埋めるように貼ります。
●裏面から、穴部分の円のサイズに合わせてカットします。

2-2. 床面への接着剤塗布 ※接着作業の際は換気を充分に行ってください。

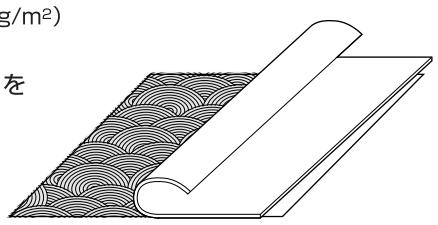
①接着剤の準備

●ノズルの先端をカットして、カートリッジガンにセットします。



②床全面に接着剤を塗布する。（標準塗布量:400g/m²）

●付属のくし目ごてを使用してください。
●タイルの目地に接着剤を埋め込むように波型にくし目を立てながら塗布してください。
●壁際や排水溝廻りなど塗布不足に注意してください。



チェックポイント

□ 接着剤を床面に隙間なく塗布したか、確認を行ってください。塗布不足は、床の浮きや剥がれなどの原因になります。

2-3. 貼付可能時間の厳守

●接着剤（ペディボンド）には、オープンタイムが必要ありません。塗布後はすみやかに貼付作業を行ってください。
●接着剤の貼付可能時間は接着剤塗布後約30分（23°条件下）です。

⚠注意　接着剤使用上の注意

●低温時は硬化が著しく遅れます。5℃以下では、施工を行わないでください。
●塗布後すぐに接着剤の硬化が始まります。すみやかに貼付作業を行ってください。

2-4. 床面への圧着

①床シートを接着する　●床シートを接着する際は、5㎜程度壁から間隔を取ってください。

②床シートを圧着する

●床施工用のローラーもしくは角材にタオルを巻きつけた圧着棒で作業してください。
●中央部分から壁に向かって、空気を押し出すように圧着します。圧着が不十分の場合、くし目がつぶれず接着不良につながります。充分に圧着するように、注意してください。

チェックポイント

□ 床シートと壁面の隙間を5mm程度あけてください。

□ 圧着不足が無いか注意してください。

2-5. 壁際及び排水口の処理　壁際や排水口廻りに接着剤を充填し、隙間の処理を行います。

①充填部を確認する

●充填部にゴミやホコリがないか確認してください。

②マスキングテープを貼る

●仕上がりを美しくするために、壁と床の両側にマスキングテープを貼ります。（右図参照）

③接着剤を充填する

●気泡が入らないように目地の底部から入念に充填します。

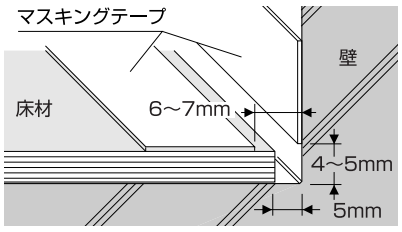
④充填部を平滑に仕上げる

●充填後、速やかにプラスチックヘラで平滑に仕上げます。
●気泡が入り込み、ヘコミが発生した場合には直ちに作業を中止し、その部分に接着剤を多めに充填し、再度ヘラで仕上げます。

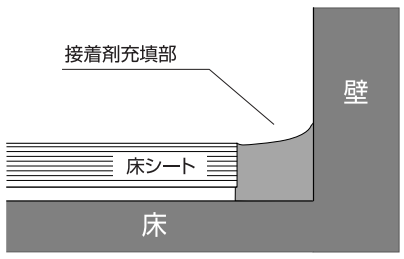
⑤マスキングテープを除去する

●④の仕上げ後、直ちにマスキングテープを取り除きます。
●マスキングテープに付いた接着剤で床面を汚さないように注意してください。

壁との取り合い



プラスチックヘラでならし、マスキングテープを取った様子

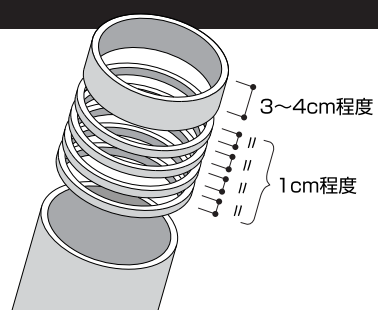


チェックポイント

□ この接着剤充填の作業による仕上げの良否で、全体の仕上がりが大きく変わります。丁寧かつ綺麗に仕上げてください。

3 床面の養生

接着剤が硬化するまで養生してください（24時間以上）。床先行で施工を実施するため、壁面施工の場合に床の汚れや傷つきが懸念されます。確実な養生で綺麗な床面の確保をお願いします。

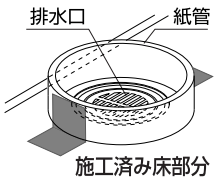


3-1. 養生材の準備

●床シートの巻かれていた紙管をカットします。
●カットサイズ：3～4cm程度×1
　　1cm程度×4

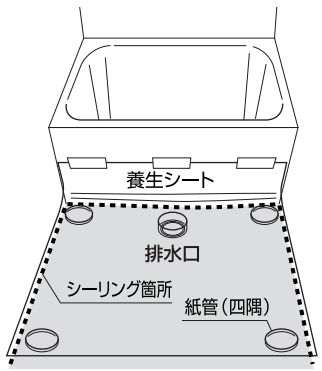
3-2. 排水口廻りの養生

●下図のように排水口の廻りにカットした3～4cm程度の紙管を置いてください。
●置いた紙管が移動しないように、テープ等で仮止めしてください。
●紙管サイズは径100mmです。目皿が大きい場合は紙管を繋げて養生してください。



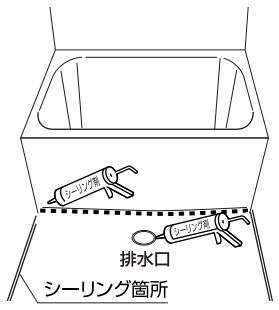
3-3. 床全体の養生

●床部分が露出しないように、全面に養生を行ってください。
●養生材には、ダンボール（バスミュールの梱包でも可）や養生シートなど床が保護できるものを使用してください。
●①でカットした、1cm程度の紙管を4隅におき養生材が充填した接着剤に接触しないようにしてください。



チェックポイント

□ 排水口廻りなど養生を確実に行うことで、充填した接着剤を美しく保ちます。養生後はつまずきに注意してください。



引き続き、壁面・天井面の施工を実施してください。

バスミュール（壁面・天井面施工）終了後の、仕上げ隙間シーリングの際は、排水口廻り、浴槽側の接着剤充填部分の上に、浴室用防カビ剤入りシーリング剤を用いて、必ずシーリング処理を行ってください。

接着剤が硬化するまで養生してください（24時間）。
施工確認後、取扱説明書を必ず施主様にお渡しください。

●お問合せ

フクビ化学工業株式会社

本社／福井市三十八社町33の66　☎(0776)38-8013　〒918-8585
工場／本社・坂井（福井）・三方（ミカタ）（福井）・大阪・タイ国・USA

東　京☎(03)5742-6304　大　阪☎(06)6386-6955　名古屋☎(052)532-6663
札　幌☎(011)896-7500　盛　岡☎(019)654-7511　仙　台☎(022)287-3471
新　潟☎(025)241-7832　宇都宮☎(028)636-3521　東関東☎(029)841-7611
北関東☎(048)661-0400　千　葉☎(043)247-3651　西東京☎(042)529-3911
神奈川☎(045)470-1050　静　岡☎(054)288-3600　北　陸☎(0776)38-8010
京　都☎(075)662-2315　広　島☎(082)246-7211　高　松☎(087)835-3721
岡　山☎(086)232-0601　福　岡☎(092)471-5800　鹿児島☎(099)259-0220
沖　縄☎090-1943-2112

http://www.fukuvi.co.jp

2011.7改 Ⓣ

フクビ

浴室床リフォーム専用床材

お客様用

「ペディシート」のメンテナンス方法

ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みの上、正しくお使いください。また、この取扱説明書は大切に保管してください。

■お手入れの方法

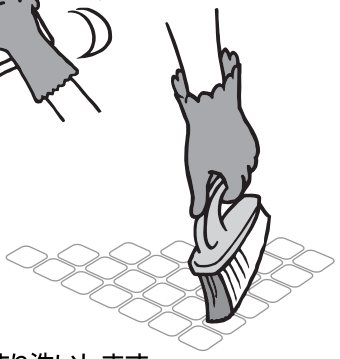
ふだん

① 柔らかいスポンジに浴室用中性洗剤をつけてこすり洗いします。
② 汚れを落とした後は、洗剤をよく洗い流します。
③ 残り水はかき集め、排水口から流すか、モップや雑巾で拭き取ります。
④ 最後に換気することで、十分に乾燥させてください。

湯あか、水あか、黒ずみなどの頑固な汚れが溜まっている場合

頑固な汚れ

①浴室用ブラシ（毛先が樹脂製）に浴室用中性洗剤をつけてこすり洗いします。
②汚れの箇所は洗剤を塗りつけるようにして、こすり落とします。
③汚れを落とした後は、洗剤をよく洗い流します。
④残り水はかき集め排水溝から流すか、モップや雑巾で拭き取ります。
⑤最後に換気することで、十分に乾燥させてください。

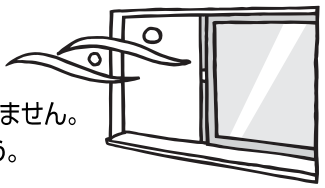


それでも除去できない汚れについてはクリームクレンザーをつけて歯ブラシ等でこすり洗いします。

■おそうじのポイント

入浴後の早めのおそうじ

水性の汚れ（石けん・皮脂など）は乾いてしまうと頑固な汚れの原因になります。
まだ濡れているうちに手早く汚れを落とし、汚れをためないことを習慣にしましょう。



こまめな換気

カビは湿気を好みます。カビはお風呂掃除の最大の敵であり、洗剤を使っても容易に取り除けません。
入浴後に換気扇を回す、窓を開けるなど行い、しっかり換気して十分に乾燥させましょう。

計画的なおそうじ

浴室の一度のおそうじにかける時間は15分ほどが目安です。
時間をかけすぎると心身ともに疲れ、億劫になりがちです。時間を決めて計画的なおそうじを。

■管理上の注意

●浴室用の桶や椅子などの裏面についているゴムが長期間接していると変色の原因になります。長期間そのような状態が続く場合は、床材にゴムが接しないように配慮ください。
●毛染め液などは床材を汚染させますので、付着させないでください。
●化学薬品や油・溶剤（ベンゼン・アルコール等）は使用しないでください。床材を滑りやすくしたり表面を侵したりする可能性があります。
●重量物は置かないでください。床材を傷つけ、引きずることで剥離欠損や膨れの発生の原因となります。

●お問合せ

フクビ化学工業株式会社

本社／福井市三十八社町33の66　☎(0776)38-8013　〒918-8585
工場／本社・坂井（福井）・三方（ミカタ）（福井）・大阪・タイ国・USA

東　京☎(03)5742-6304　大　阪☎(06)6386-6955　名古屋☎(052)532-6663
札　幌☎(011)896-7500　盛　岡☎(019)654-7511　仙　台☎(022)287-3471
新　潟☎(025)241-7832　宇都宮☎(028)636-3521　東関東☎(029)841-7611
北関東☎(048)661-0400　千　葉☎(043)247-3651　西東京☎(042)529-3911
神奈川☎(045)470-1050　静　岡☎(054)288-3600　北　陸☎(0776)38-8010
京　都☎(075)662-2315　広　島☎(082)246-7211　高　松☎(087)835-3721
岡　山☎(086)232-0601　福　岡☎(092)471-5800　鹿児島☎(099)259-0220
沖　縄☎090-1943-2112

http://www.fukuvi.co.jp

2011.7.改 Ⓣ